令和３年度　１学年標準学力調査の結果について

日頃より本校の教育活動に対し、多大なるご理解とご協力をいただきありがとうございます。

５月１０日（月）に実施いたしました標準学力調査について、学年・教科毎の結果、課題及び今後の対策と手立てについて、下記のとおりまとめましたのでお知らせします。

（１）国語　　※全国比：全国の得点率を１００としたときの値　◎5ポイント以上高い　▼5ポイント以上低い

観点別	本校正答率	全国正答率	全国比
知識・技能	７８．７	７５．０	◎１０５
思考・判断・表現	６７．１	６８．５	９８
主体的に学習に取り組む態度	６８．３	７１．６	▼９５

【状況及び課題】

「知識・技能」は、全国平均を上回っていますが、残りの２つの観点は、全国平均を下回っています。特に、指定された長さで文章を書いたり、自分の考えを明確に書いたりすることに課題が見られます。

【今後の対策と手立て】

条件に沿った解答ができるように文章を丁寧に読む習慣を付けさせていきます。また、感じたことや考えたことを書く時には、なぜそのように感じたのか、文章のどこからそのように考えたのかなどについて、根拠を明確にして書かせていきます。

（２）社会

観点別	本校正答率	全国正答率	全国比
知識・技能	６９．４	５６．５	◎１２３
思考・判断・表現	５６．１	５１．３	◎１０９
主体的に学習に取り組む態度	４９．６	４８．３	１０３

【状況及び課題】

知識・技能と思考・判断・表現については、全国正答率を大きく上回っており、特に知識・技能の力はかなり身についている状態です。課題としては、主体的に学習に取り組む態度について、全国正答率とほぼ差がない状況になっています。

【今後の対策と手立て】

全国正答率との差が小さい、主体的に学習に取り組む態度の育成に向けて、日々の授業で様々な仕掛けをしていきたいと考えています。また、日々の授業で学習内容の定着を図るよう、振り返り活動を日々の授業の中で引き続き実施していきます。

（3）数学

観点別	本校正答率	全国正答率	全国比
知識・技能	７５．３	７１．５	◎１０５
思考・判断・表現	６６．７	５７．３	◎１１６
主体的に学習に取り組む態度	７３．３	６３．４	◎１１６

【状況と課題】
３観点とも全国正答率を上回っています。「知識・技能」の観点では、分数や小数の基礎計算の定着が見られます。一方、線対称な図形・単位の異なる速さの計算・反比例の表の読み取り・すべての場合の数を数え上げる・円グラフの読み取りの問題に課題があります。「思考・判断・表現」の観点では、資料や既存の知識を活用して身の回りの問題を解決することや説明する力に課題があります。

【今後の対策と手立て】
小学校での知識と関連付けながら授業を進めていきます。単元の中に復習の機会を設けて、知識・技能の定着を図ります。活用の問題を扱う上で、自分の考えを記述させることで理解が曖昧な部分をはっきりさせ、深い理解へとつなげていきます。

（4）理科

観点別	本校正答率	全国正答率	全国比
知識・技能	５２．４	５５．７	▼９４
思考・判断・表現	６４．０	５８．３	◎１０９
主体的に学習に取り組む態度	６０．０	５６．０	◎１０７

【状況及び課題】
「知識・技能」の観点では、動植物のからだのはたらきや大地のつくりについての部分に課題があります。日頃の授業では、実験や観察を好み積極的に授業に参加しています。それが「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点は高い結果に反映されていると思います。また、記述式の問題に無回答の割合が多い結果となっています。

【今後の対策と手立て】
積極的に授業に参加する態度を大切にし、さらに主体的に授業に参加し考えを深められるように授業を工夫していきます。また、中学校の理科は小学校の学習を深めていく内容になっていますので、定着が低かった「知識・技能」は小学校の内容をしっかり確認し中学校の内容へスムーズに入れるようしていきます。

（5）英語

観点別	本校正答率	全国正答率	全国比
知識・技能	８６．０	７７．６	◎１１１
思考・判断・表現	９５．０	８６．９	◎１０９
主体的に学習に取り組む態度	９９．０	９０．５	◎１０９

【状況と課題】
基礎、活用ともに目標値や全国平均を大きく上回ることができた。領域別では「書くこと」が 95.4 特に高い。「書くこと」は中学校でつまずきやすい領域であるが、小学校での学習を中学校にうまくつなげることができている。「聞くこと」の領域では、基本的な単語（月名や動作）の正答率が低かった。

【今後の対策と手立て】
家庭学習の内容や方法を主体的に工夫して継続させることができるので、今後も継続させたい。リスニングの問題で正解率が低い問題があったので、日常的に ICT を活用しネイティヴの発音に慣れさせたり、音読練習を通してリスニング力を高めていきます。

令和３年度　２学年標準学力調査の結果について

日頃より本校の教育活動に対し、多大なるご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、５月１０日（月）に実施いたしました標準学力調査について、学年・教科毎の結果、課題及び今後の対策と手立てについて、下記のとおりまとめましたのでお知らせします。

（１）国語　　※全国比：全国の得点率を１００としたときの値　◎5ポイント以上高い　▼5ポイント以上低い

観点別	本校正答率	全国正答率	全国比
国語への関心・意欲・態度	６８．７	６６．０	１０４
話す・聞く能力	７７．３	８１．５	▼９５
書く能力	５９．９	５４．２	◎１１１
読む能力	６５．８	５９．０	◎１１２
言語についての知識･理解･技能	７９．８	７６．９	１０４

【状況及び課題】

５観点のうち、４観点では全国平均を上回っています。一方、「話す・聞く能力」に課題が見られ、特に、話の内容を正確に聞き取ったり、聞き手に理解してもらうための話し方の工夫を聞き取ったりすることに課題が見られます。

【今後の対策と手立て】

「話し合う」活動を積極的に取り入れていきます。内容に即して思考・判断したことを表現する力が必要であるため、生徒一人ひとりの実態を把握し、苦手意識を持っている内容について個に応じた指導を行っていきます。

（２）社会

観点別	本校正答率	全国正答率	全国比
社会事象への関心・意欲・態度	６１．８	５１．０	◎１２１
社会的な思考・判断・表現	６４．０	５２．３	◎１２２
資料活用の技能	６７．６	５３．８	◎１２６
社会的事象についての知識･理解	７２．１	５６．６	◎１２７

【状況及び課題】

どの分野においても全国正答率を大きく上回っており、学習内容の定着度合いがかなり高くなっています。今回の問題で言えば、正距方位図法を用いた問題と建武の新政に関わる内容の正答率が低くなりました。

【今後に向けて】

これからも日々の授業の中で、生徒の興味関心を高める取り組みを継続していきます。また、知識で答える問題だけではなく、資料を読み取る力や出来事の背景を考える力を伸ばしていくための取り組みを進めていきます。

（3）数学

観点別	本校正答率	全国正答率	全国比
数学への関心・意欲・態度	５５．６	４９．８	◎１１２
数学的な見方や考え方	５２．６	４９．３	◎１０７
数学的な技能	７３．１	６６．０	◎１１１
数量や図形などについての知識･理解	５８．０	５６．９	１０２

【状況と課題】
全ての観点で全国正答率を上回っています。また、昨年度（中１時）と比較し全ての観点で改善されています。「知識・理解」の観点では、方程式の解・比例と反比例・資料の活用・おうぎ形の求積について課題があります。「数学的な見方や考え方」の観点では、式を読み取り考え方を説明する力に課題が見られます。

【今後の対策と手立て】
中１の指導内容と類似している点があることから、既存の知識を発展させたり、関連付けたりして理解を深めていきます。知識・技能については、単元の中で復習する場面を取り入れ定着を図ります。数学的な見方や考え方については、既習の知識がどのように活用されているかを明確にできるような授業展開を行います。資料の活用については、中１の知識を振り返る機会を設けていきます。

（4）理科

観点別	本校正答率	全国正答率	全国比
自然事象への関心・意欲・態度	７４．２	５３．７	◎１３８
科学的な思考・表現	６１．７	５２．１	◎１１８
観察・実験の技能	５７．０	４９．７	◎１１５
自然事象についての知識･理解	６４．１	５３．７	◎１１９

【状況及び課題】
すべての観点が全国正答率を上回る結果が出ています。日頃から授業を大切にする学習の取組の成果が出ていると思われます。学習したのが 1 年の始めの内容の「水溶液の性質」と「気体の性質」の部分で正答率がやや低い結果となっています。

【今後の対策と手立て】
授業に参加する態度を大切にし、さらに主体的に授業に参加し考えを深められるように授業を工夫していきます。単元の始めに関連ある既習の内容を復習する機会を設けていき、自主的に復習するできる働きかけを増やしていきます。

（5）英語

観点別	本校正答率	全国正答率	全国比
コミュニケーションへの関心・意欲・態	６８．７	５６．３	◎１２２
外国語表現の能力	５５．９	３７．４	◎１４９
外国語理解の能力	６５．２	６０．３	◎１０８
言語や文化についての知識・理解	６８．２	５７．０	◎１２０

【状況と課題】
全ての観点、領域で目標値や全国平均を上回ることができた。領域別にみても、特に苦手な領域もなく、バランスよく力を有している。問題の形式では、長文の読み取りの正解率が比較的低いのが課題である。

【今後の対策と手立て】
日常的な家庭学習や、定期テストに向けて一生懸命取り組める生徒が多いので、今後も継続させていきたい。英語に苦手意識を持っている生徒もいるが、粘り強く努力できる子ばかりなので、授業や放課後学習などでフォローアップを図る。長文を読み取る問題形式に慣れてないので、定期テストや単元テストを工夫し、はじめて読む英文の概要を読み取る力を付けていきます。

令和３年度　３学年標準学力調査の結果について

日頃より本校の教育活動に対し、多大なるご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、５月１０日（月）に実施いたしました標準学力調査について、学年・教科毎の結果、課題及び今後の対策と手立てについて、下記のとおりまとめましたのでお知らせします。

（１）国語　　※全国比：全国の得点率を１００としたときの値　◎５ポイント以上高い　▼５ポイント以上低い

観点別	本校正答率	全国正答率	全国比
国語への関心・意欲・態度	６８．４	６８．７	１００
話す・聞く能力	７１．７	７０．７	１０１
書く能力	６１．５	６０．８	１０１
読む能力	６３．８	６４．９	９８
言語についての知識･理解･技能	７６．９	７１．７	◎１０７

【状況及び課題】

５観点のうち、４観点で全国平均とほぼ同じか５ポイント以上、上回っていました。一方、登場人物の心情をとらえたり、文章の展開をとらえて、その内容を整理したりすることに課題が見られました。

【今後の対策と手立て】

文章の内容を読み取る力を向上させるために、丁寧に読む習慣を付けさせたり、文章を要約させたりする活動を増やしていきます。また、語彙力を高めたり、文脈から意味を推測し、主旨を探したりする活動を取り入れていきます。

（２）社会

観点別	本校正答率	全国正答率	全国比
社会事象への関心・意欲・態度	４７．８	４７．２	１０１
社会的な思考・判断・表現	５２．６	５１．１	１０３
資料活用の技能	５７．５	５６．５	１０２
社会的事象についての知識･理解	５５．４	５５．６	１００

【状況及び課題】

どの分野も概ね全国正答率と変わらない結果となりました。全体的に見ると、正答率の低い問題が歴史の方に多くありました。学年の前半に学習した内容の定着度合いがやや低くなっています。

【今後に向けて】

知識・理解に限らず様々な分野の力を総合的に高めていくために、日々の授業の中で話し合い活動や、複数の事象から答えを導き出す問いなど、授業の工夫を進めていきます。１・２年生の学習内容と関連する部分については、今後の学力テストや入試を見据え、積極的に取り上げていくようにします。

（3）数学

観点別	本校正答率	全国正答率	全国比
数学への関心・意欲・態度	３０．０	４０．６	▼７２
数学的な見方や考え方	３２．１	４４．３	▼７２
数学的な技能	５０．０	５７．９	▼８６
数量や図形などについての知識･理解	５４．２	５８．８	▼９２

【状況と課題】
全ての観点で全国正答率を下回っています。また、昨年度（中２時）と比較すると全ての観点で低下しています。基礎計算の定着が不十分です。領域別にみると、図形は全国とほぼ同じですが、関数・資料の活用に大きく課題が見られます。

【今後の対策と手立て】
身近に使われている題材を取り上げる等、数学に対する関心を高めていきます。また、自分の考えを表現する機会を多く取り入れたり、話し合い活動を通して不十分な部分を補い合ったりなど集団全体の底上げを図ります。基礎的な知識・技能については、単元ごとに復習の時間を設け、定着を図ります。一人一人の実態に応じた学習方法の支援や目標設定を行っていきます。

（4）理科

観点別	本校正答率	全国正答率	全国比
自然事象への関心・意欲・態度	４６．２	５１．３	▼９０
科学的な思考・表現	４９．１	５３．１	▼９２
観察・実験の技能	５３．８	６６．１	▼８１
自然事象についての知識･理解	５０．１	６２．５	▼８０

【状況及び課題】
すべての観点で全国正答率を下回る結果となっています。昨年度より「自然事象への関心・意欲・態度」「科学的な思考・表現」は上回りましたが、「自然事象についての知識･理解」が下回りました。

【今後の対策と手立て】
実際の授業では実験・観察を好み、グループで交流することができます。この部分を大切にし、結果につなげていくために考えを深めながら実験できる工夫や理科の言葉を使いながらの思考・表現を言葉だけではなく文章で説明することを繰り返し行っていきます。１・２年生の復習は、各単元に合わせて取り入れたり、学力テストに合わせて自主的に学習できるよう働きかけたりしていきます。

（5）英語

観点別	本校正答率	全国正答率	全国比
コミュニケーションへの関心・意欲・態	６６．８	５９．３	◎１１３
外国語表現の能力	５７．５	４７．６	◎１２１
外国語理解の能力	６６．７	６７．３	９９
言語や文化についての知識・理解	６６．９	６６．９	１００

【状況と課題】
全体としては目標値、全国平均を上回ることができた。しかし、「基礎」の問題は目標値を超えたが、「活用」の問題が依然として課題である。領域別には、「聞くこと」「書くこと」の正答率が特に高いのに対し、「読むことが」の正答率が低いのが課題である。

【今後の対策と手立て】
間違いを恐れず、自己表現をしようとする意欲があり、その長所を大切にしていきたい。しかし、テストでは正確さを求められることも多いので、定着が不十分な語彙や文法を、復習する機会を設け、反復することで定着を図る。また、メールの内容を読み取ったり、読み取った内容をふまえて、英文を作る問題の正答率が特に低かったので、定期テストや単元テストを工夫し、様々な形式の問題に対応できるようにしていきます。